農経しんぽう

2005年（平成17年）2月14日　第2599号　（8）

三陽機器が推進 フロントタイプ「ミニローダ」シリーズ アーム軽量化 除雪用、導入活発に

三陽機器㈱（寺前公平社長・岡山県浅口群里庄町新庄3858）発売の超低価格のフロントローダ「ミニローダ・CLDシリーズ」が、トラクタに乗申したままで除雪作業が行えると好評を博している。従来の〝ほぼ半額〟という経済的な価格も魅力で、「フロントローダは高価なもの」と諦めていた小規模農家層への導入が〝除雪用〟を契機に活発化しつつある。

寺前社長

小型トラクタ所有農家に大きな潜在需要があるインプルメントとして一、二を競うのがフロントローダ。とはいえ、これまで価格の壁にさえぎられ、こうした幅広い層の需要は大きく顕在化するには至らなかった。

この壁を打破し、一般兼業農家やハウス農家にも求められるフロントローダとしたのがこの超安価な「ミニローダ・CLDシリーズ」。フロントローダのトップメーカーである同社が蓄積した技術を応用、機能を絞り込み、軽量コンパクト化を実現して大幅なコストダウンに成功した。

平成11年発売以来、その経済性が大きな反響を呼び、これまで普及が少なかった小規模兼業農家層やハウス農家への導入が活発化、とりわけ除雪作業に人気を呼び、家周りや道路の除雪に広く用いられている。降雪地帯では、農家だけでなく、日常的に除雪が必要な事業所や各種の店舗にも、小型トラクタとともに導入されるなど、まさに、思い切った経済的な価格が潜在していた需要を掘り起こしたかたちだ。

好評のミニローダ・CLDシリーズ

農家ユーザーからも「今年の雪は重かったので、ミニローダが威力を発揮してくれて助かった」「フロントの作業のため、疲れず安全に作業ができ、仕事がはかどった」―など、喜びの声が数多く寄せられている。

こうした動きを受けて販売サイドでも、その推進に力を入れており、①新たなローダ需要が掘り起こせる②小型トラクタの販売につながる③本格的なローダ販売に結びつく④新規客の開拓も行える―などの理由から冬場の戦略商品と位置付け、積極推進を行っている。

【主な特徴】

①リフトアーム自体を軽量コンパクト化。アームを装着した状態でもトラクタからのオーバーハングを最小にし、他の作業の邪魔にならない小回り性能に優れた設計により、狭い場所での除雪・整地作業やハウス内作業に最適②トラクタとのバランスがよく、前輪タイヤへの負担が軽減されており、軽いハンドル操作で高齢者や女性でも楽に操作できる③持ち上げ高さは1・55㍍（CLD180）で、2トントラックへの排雪作業などの積み込みにも余裕④左右連結式スナップヒッチを採用。先端アタッチの交換も容易⑤上昇・下降・スクイ・ダンプの操作レバーが1本で可能⑥油圧システムは全複動式を採用。ぬかるみからの脱出など力仕事も容易。

問い合わせ＝☎086・564・2871